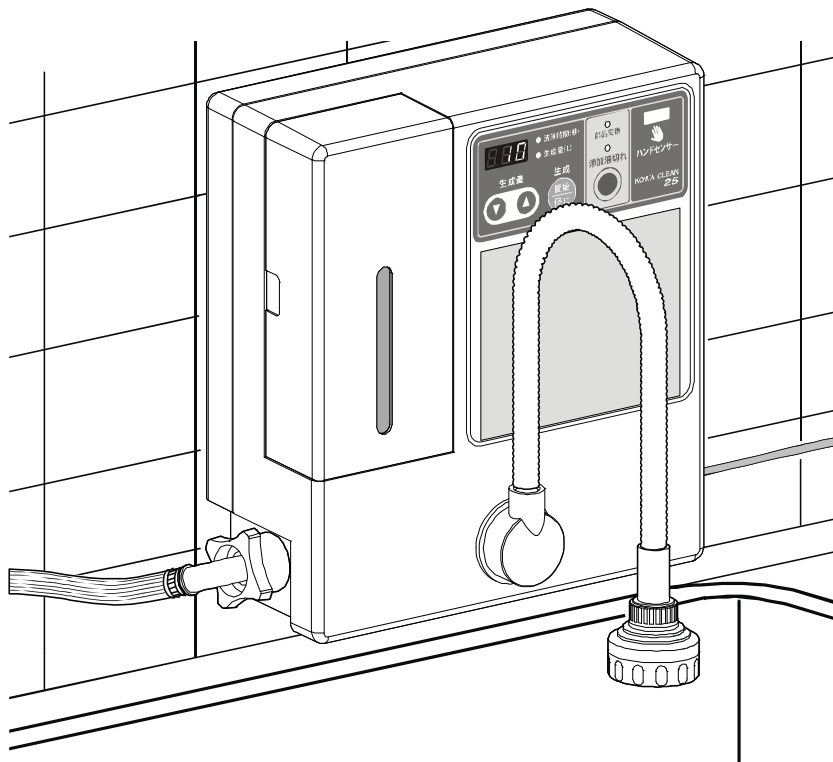


洗浄除菌水生成装置 コア・クリーン25

取扱説明書



お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
安全にお使いいただくために、設置前およびご使用前にこの説明書を必ずお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

KOWATEC

目次

1 安全上の注意	1～6
表示マークの説明	1
設置について	2～4
使用について	5、6
2 付属品・別売品	7
付属品	7
別売品	7
3 各部の名称	8, 9
本体前面・付属品	8
本体背面・操作パネル	9
4 設置	10
設置例	10
取水パイプの向き	10
5 添加液の準備	11, 12
添加液の扉の取り外し・取り付け	11
添加液タンクの取り出し	11
添加液の補充	12
添加液タンクの取り付け	12
6 生成の手順	13～17
生成の前に	13
生成の開始・停止 (チャイルドロック OFF)	
1. スイッチによる生成	14
2. 生成量の変更	14
3. ハンドセンサーによる生成	15
4. 生成の停止	15
生成の開始・停止 (チャイルドロック ON)	
5. ハンドセンサーによる生成	16
添加液の補給	17
有効塩素濃度の確認	17
7 設定値の変更	18～21
項目の表示と選択	18
洗浄時間設定	19
有効塩素濃度設定	20
チャイルドロック設定	21
8 故障かなと思ったら	22, 23
9 エラー	24, 25
10 点検とお手入れ	26, 27
点検	26
本体のお手入れ	26
メッシュフィルターの清掃	26
添加液コネクタの洗浄	27
11 チェックリスト	27
ご使用の前に	27
生成の確認	27
12 仕様	28
13 交換部品・消耗品	29
14 保証とアフターサービス	

1 安全上の注意

表示マークの説明

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するため、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を『危険』・『警告』・『注意』に区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

＊ 下記のマークの付いている文書は必ずお読みください。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害や事故を負う可能性および物的損害※ ¹ の発生が想定される内容を示しています。

※¹ 物的損害とは、家屋・家財・ペットにかかわる拡大損害を示します。

◇注意表示

マーク	タイトル	意 味
	危険・警告・注意	特定しない、危険・警告・一般的な注意の通告に用いる。

◇禁止表示

	一般禁止	特定しない、一般的な禁止の通告に用いる。
	火気禁止	特定条件において、外部の火気によって製品および付属装置が発火する可能性がある。
	水かけ禁止	水をかけると内部に浸水し、漏電によって感電などの障害がおこる可能性がある。
	分解禁止	機器を分解することで感電などの障害がおこる可能性がある。

◇指示表示

	一般指示	特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示に用いる。
	電源プラグをコンセントから抜け	故障時や落雷の可能性のある場合、電源コンセントから電源プラグを抜く。
	必ずアース線を接続せよ	漏電などの可能性があるので必ずアース線を接続する。

1 安全上の注意

設置について



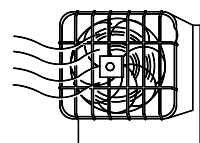
警告

換気設備を



- 換気設備を設けた風通しの良い場所に設置してください。生成中に微量のガスが発生する恐れがあります。

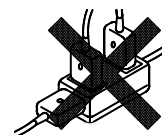
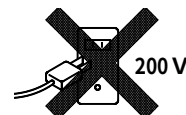
換気



コンセント



- 電源は単相AC100V(50/60Hz)を使用してください。上記以外の電源を使用した場合は、火災・感電の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。タコ足配線などで定格を超えると異常発熱して発火する恐れがあります。
- 定期的にプラグをコンセントから抜き取り、プラグの刃や、接触面のホコリをよく拭き取ってください。ホコリが溜まると発火する恐れがあります。



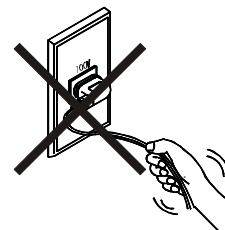
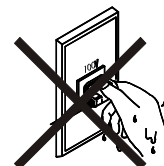
電源スイッチ



- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の恐れがあります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。



- 電源プラグの抜き差しは、電源コードを持たず、電源プラグを持っておこなってください。電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。
- 落雷の恐れのある場合やお手入れの場合は、必ず電源スイッチを『OFF』にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。感電する恐れがあります。



電源コード



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。

1 安全上の注意

設置について

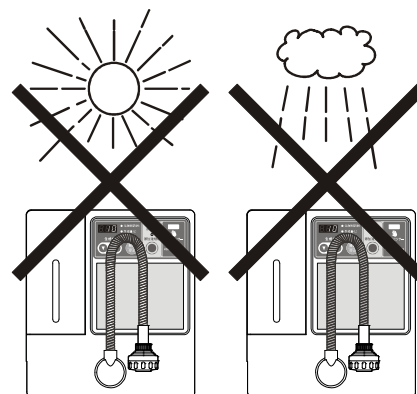


注意

設置禁止の場所



- 下記のような場所には絶対に設置しないでください。故障や事故の原因になります。
 - ・ 外気や直射日光を直接受ける場所
 - ・ 湿気やほこりの多い場所
 - ・ 室温が40℃以上の高温・多湿になる場所、浴室・農業用ハウス内など
 - ・ 爆発性・可燃性ガスの発生している場所
 - ・ 本器に直接、水がかかる場所
 - ・ 空気中の塩分濃度の高い場所
 - ・ 凍結の恐れのある場所
 - ・ 風通しの悪い密室となる場所
 - ・ 暖房器具よりの温風・熱風、他の機器よりの排気熱や輻射熱が直接当たる場所



設置時は



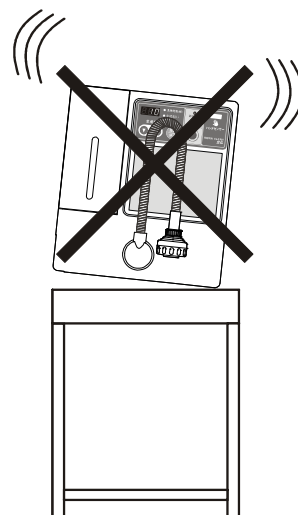
- 振動・衝撃のない場所に水平に設置してください。また、設置台などを使用する場合は、落下や転倒のないように、確実に固定してください。ケガや事故の原因になります。
 - ・ 安定かつ安全に使用できない場所に設置する場合は、別売品の壁掛け金具などで、確実に固定してください。落下や転倒によりケガや事故の原因になります。



- 本器を逆さまにしたり、横にして置かないでください。内部の残留水等により故障の原因になります。



- 取水パイプから水が出ますので、取水パイプの位置がシンクの上になるように設置してください。
 - ・ 本器を別売品の壁掛け金具で固定する場合は、十分な強度のある壁や柱を選び、落下のないよう確実に設置してください。けがや事故の原因になります。



1 安全上の注意

設置について



注意

水質の確認



- 水道水をご使用ください。
井戸水や工業用水は使用しないでください。

水圧の確認



- 0.1～0.75 MPa（1.0～7.5 kgf/cm²）が作動水圧です。

外部減圧弁



- 水圧が0.75 MPa（7.5 kgf/cm²）以上になる場合は外部減圧弁を必ず設置してください。

水温は



- 本器には、5℃以下のお水や35℃以上のお湯は絶対に使用しないでください。
凍結や熱により樹脂製の部品の変形や破損がおこり、水漏れする場合があります。

1 安全上の注意

使用について



危険・警告

専用添加液以外は使用禁止



- 専用添加液以外の液体を添加剤として使用しないでください。
有毒物質や有害物質を生成し、有毒ガスを発生させて、生命に係わる恐れがあります。

混合禁止



- 添加液は、塩酸を含む酸性の溶液です。他の水溶液(塩素系製剤)とは絶対に混合しないでください。
塩素ガスが発生し、生命に係わる恐れがあります。
 - ・ 添加液は飲んだり、目に入れたりしないでください。もし誤って飲んだ場合は、水を大量に飲み、また目に入れた場合は、こすらずに十分に水洗いをし、医師に相談してください。
健康を害することがあります。
 - ・ 添加液が肌についた場合は、すぐに大量の水で洗い流してください。
炎症を引き起こす原因になります。



警告

飲用しない



- 本器で生成される生成水は飲用の水ではありません。
絶対に飲用しないでください。



他の薬品と混ぜない



- 絶対に本器の生成水と医薬品や農薬・洗剤等と混ぜて使用しないでください。
有毒物質や有毒ガスが発生し、ガス中毒になる恐れがあります。



注意

給水は



- 給水ホースに折れ曲がりがあると、水漏れや故障の原因になりますので、通水前に確認してください。

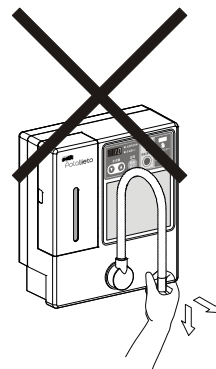
取水は



- 本器の止水は給水口での元止め方式です。
生成中は取水パイプの出口をふさいだり、折り曲げたりしないでください。水漏れや故障の原因になります。



- 取水口の取水パイプは延長しないでください。
漏水や、故障の原因となります。
 - ・ 取水パイプを無理に引っ張らないでください。
故障の原因になります。
 - ・ 取水パイプの出口からは、生成停止後も吐水されますので、必ずシンクの上になるように設置してください。



1 安全上の注意

使用について



注意

水栓ハンドルを必ず閉める



- 本器および付属装置を水道設備に接続する場合は、水道の元栓（水栓）を介して接続し、使用後は必ず元栓（水栓）を閉めてください。

凍結の恐れのある場合



- 水道の元栓（水栓）を閉め、装置への給水ホースを外してください。
 - ・ 軟水装置を設置している場合は、給水ホースを外して内部の水を抜いてください。

水をかけない



- 本器には絶対に水をかけないでください。
内部に水がかかると、漏電により故障や感電する恐れがあります。

分解しない



- 本器は絶対に分解したり改造は行わないでください。
異常作動や漏電により感電したり、発火することがあります。

保存



- 生成水を保存する場合は、容器内の空気部分を少なくして低温の暗所に保存してください。
又、長期間の保存により変質し、目的の効果が得られない場合がありますので、密閉した容器での保存でも1～2日以内にご使用ください。

生成水の性質・使用後について



- 生成水には、微量の塩化物が含まれています、長期間のご使用により金属類にサビを発生させ、樹脂製品・ゴム類も劣化させる場合もありますので注意してください。
 - ・ 金属類に対して生成水を使用した後は、水道水で十分に洗い流してください。
サビの発生を低減させることが出来ます。

生成水は手や皮膚を荒らす場合があります



- 生成水には次亜塩素酸が含まれている為、手や皮膚を荒らす場合があります。
必要に応じて、手袋などで手指を保護してください。
 - ・ 生成水を使用して肌に異常を感じた時は、速やかに使用を中止して医師に相談してください。

生成水を魚などの飼育に使用しない

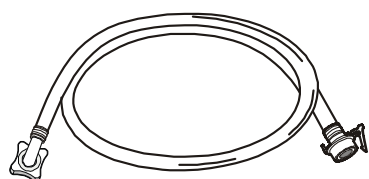


- 本器で生成した水を、魚などの飼育に使用しないでください。
環境の変化により魚などが死ぬことがあります。

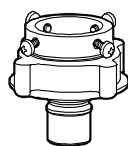
2 付属品・別売品

付属品

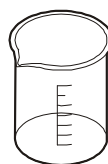
付属品は次のとおりです。



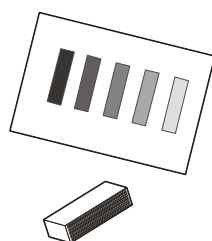
給水ホース
(1 m)



接続金具



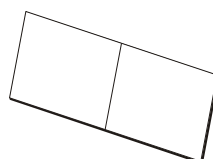
ミニカップ



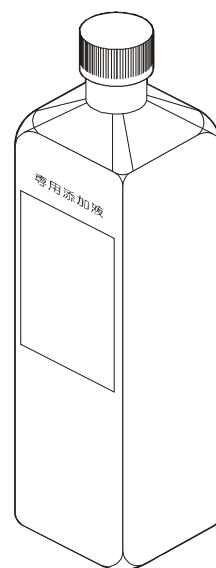
クロール試験紙
(比色表付き)



取扱説明書
工事説明書



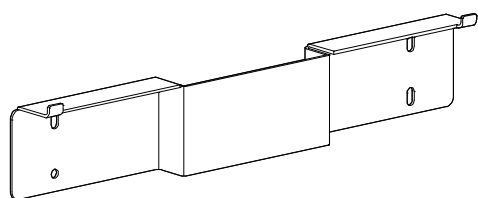
保証書



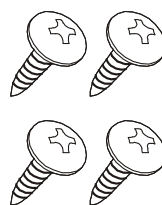
専用添加液
(1L)

別売品

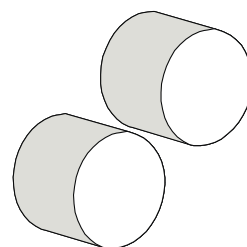
壁掛けキット：壁面を使用して設置する場合にお使いください。



壁掛け金具



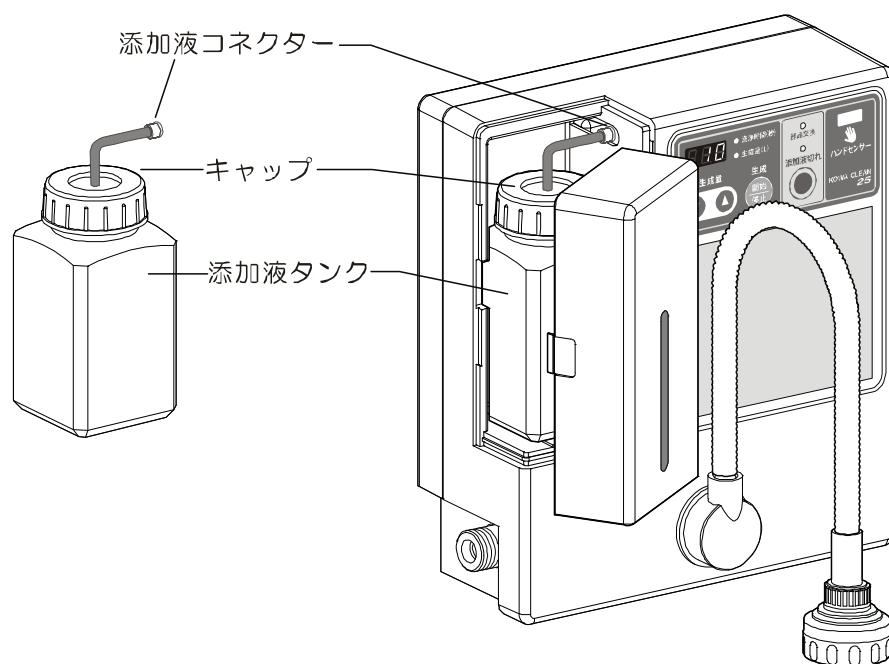
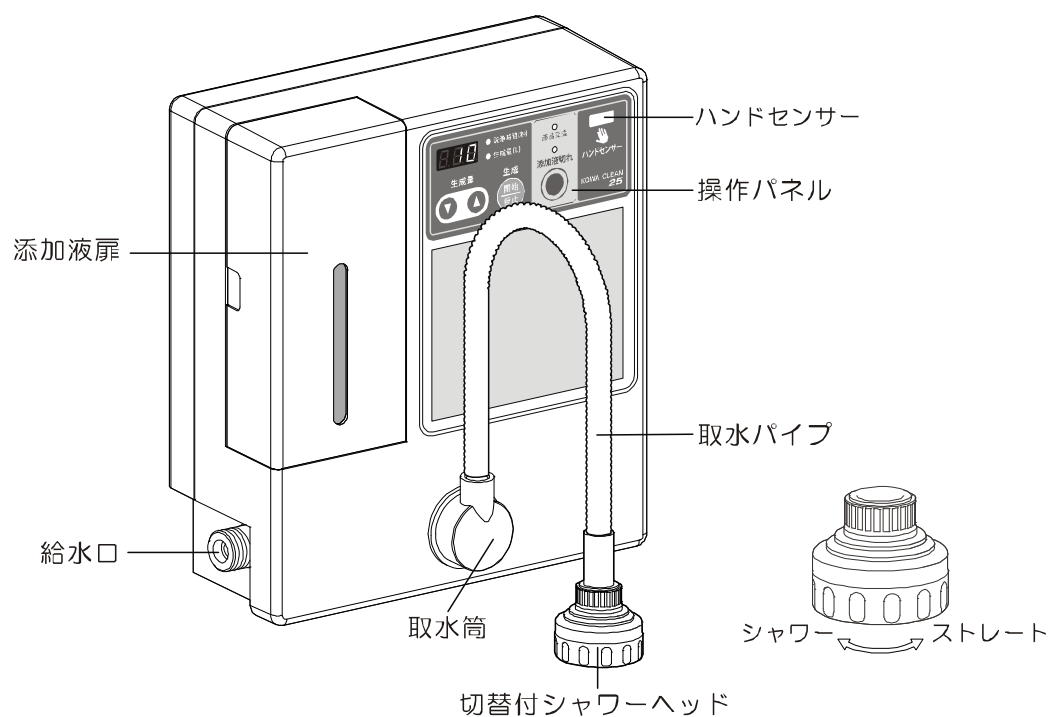
壁掛け金具固定ネジ
4本



壁掛けパッド
2個

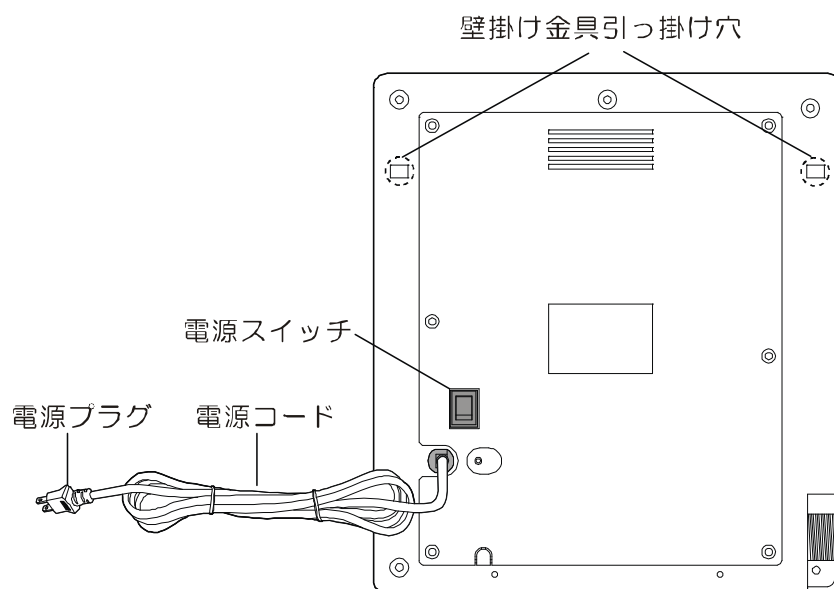
3 各部の名称

本体前面・付属品

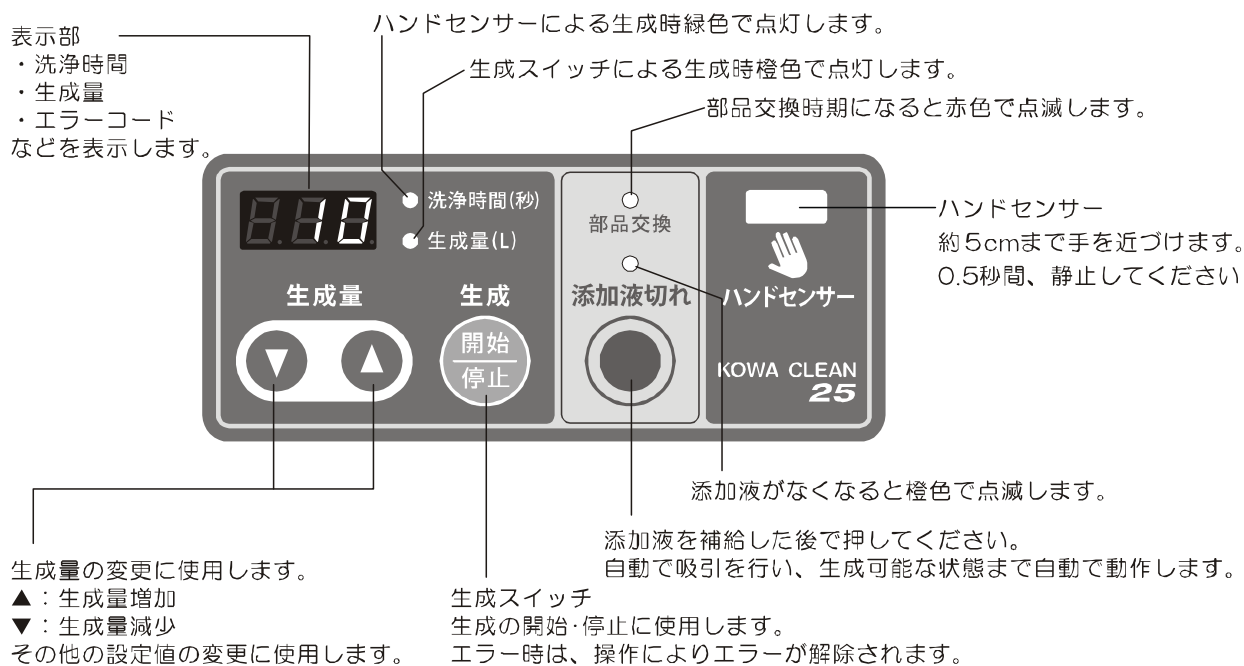


3 各部の名称

本体背面



操作パネル

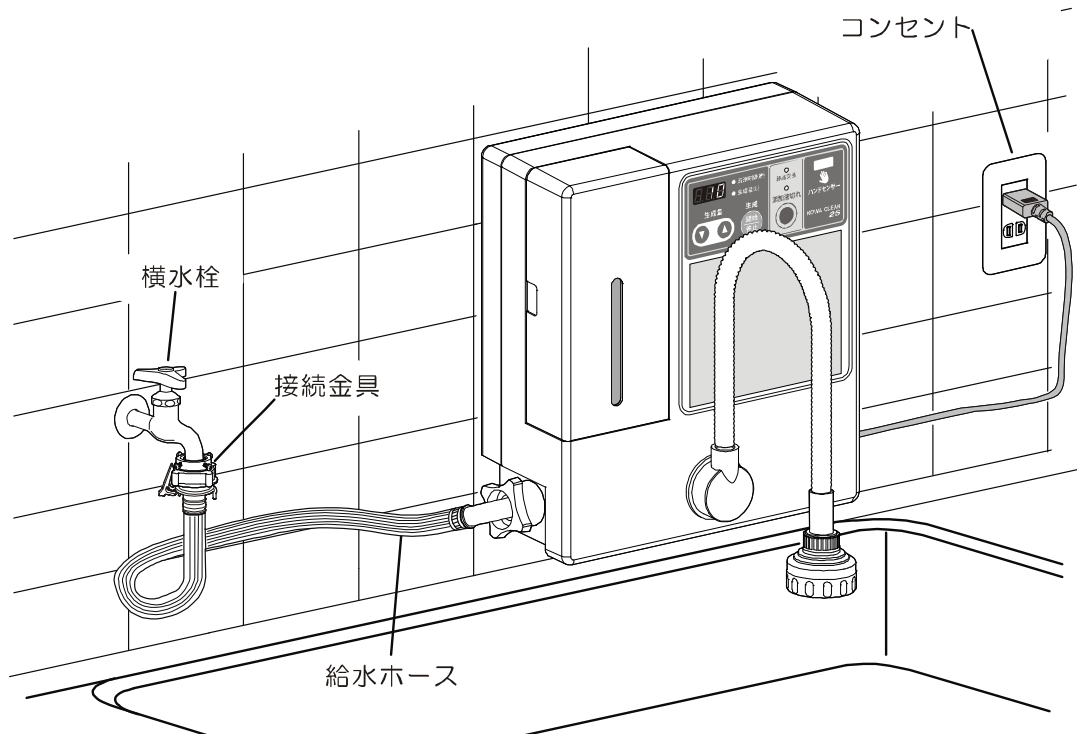


4 設置

開梱・同梱品の確認が終わったら、設置場所を決めて、本器の設置、接続金具の取り付け、給水ホース、電源コードの接続を行ってください。

設置に関する詳細は、別添の「取付設置説明書」を参照してください。

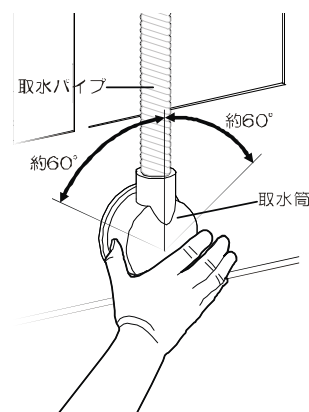
設置例 下記は、付属品と別売品の壁掛けキットを使用した設置例です。



取水パイプの向き

取水パイプは、上向きを中心として左右方向に約60°回転することができます。取水パイプを回転する場合は、取水筒を持って回してください。

左右方向に、約60°回転させると回り止めが働きそれ以上回転させることはできません。無理に回さないでください。故障の原因となります。それ以上に向きを変える必要がある場合は、販売店にご相談ください。



警告



- 取水パイプにホース等を接続して延長しないでください。水漏れや故障の原因となります。また、所定の生成水が得られない場合があります。



注意



- 取水パイプの出口側は、生成停止後や添加液補給時にも吐水されますので、必ずシンクの上になるように設置してください。
- ・ 給水ホースに折れ曲りがあると、水漏れや故障の原因になります。通水前に確認してください。

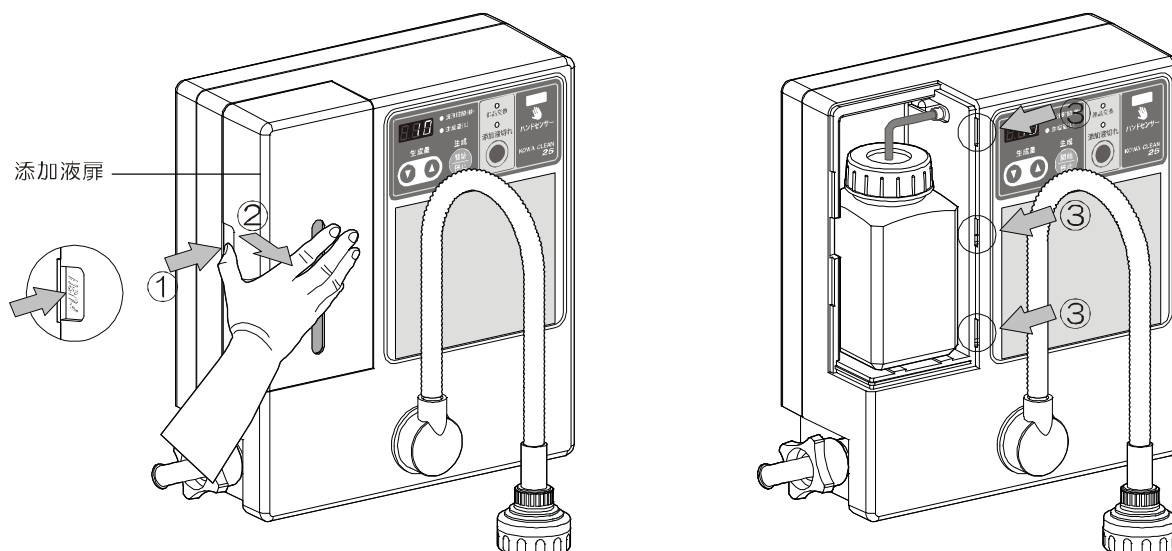
5 添加液の準備

添加液扉の取り外し・取り付け

添加液扉を取り外す時は、①の方向に押しながら、②の方向に取り外します。

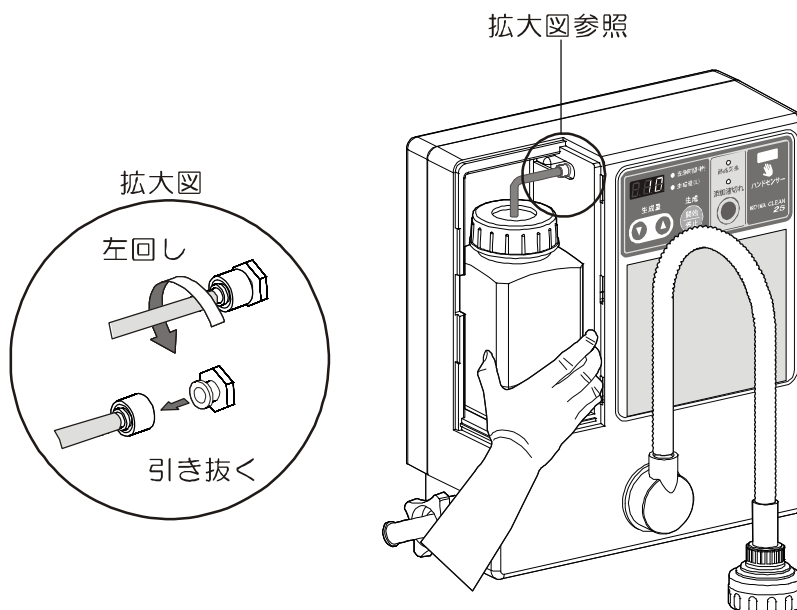
添加液扉を取り付ける時は、添加液扉の突起と③の切り欠きが重なり合う様に取り付け、

②とは逆の方向に押しして固定します。



添加液タンクの取り出し

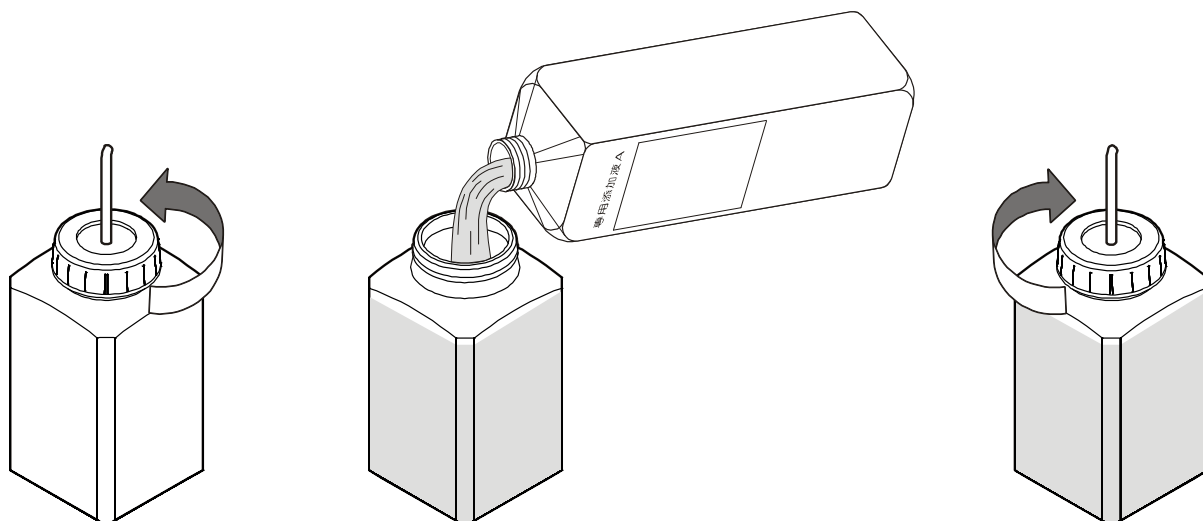
内側の添加液コネクタを左回し（反時計回し）に1回転程度回し、コネクタを抜き取り、添加液タンクを手前に取り出します。



5 添加液の準備

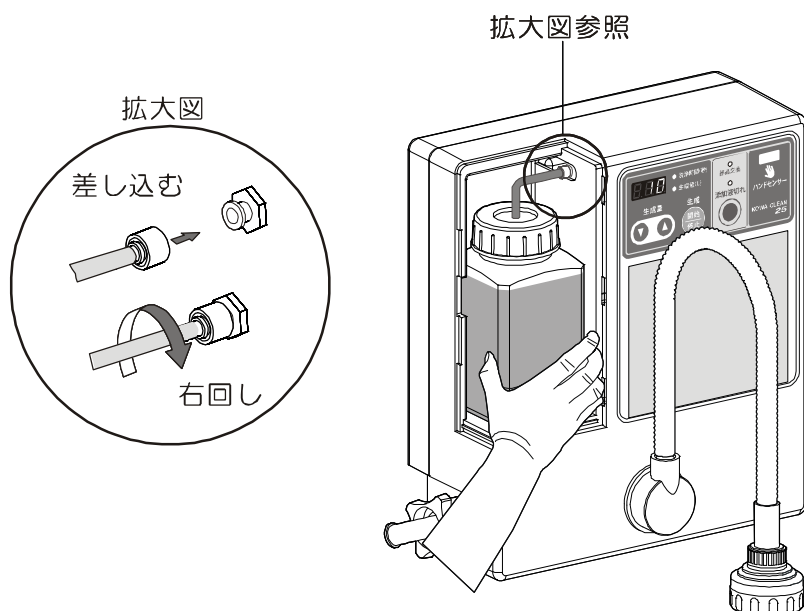
添加液の補充

添加液タンクのフタを外し、専用添加液を入れフタをします。



添加液タンクの取り付け

添加液タンクを取り付けて、添加液コネクターを差し込み、右回し(時計回し)に軽く1回転程度回してください。コネクターに緩みが無いこと、ホースに折れが無いことを確認し、添加液扉を取り付けてください。



注意



- 専用添加液がこぼれたり、付着した場合は乾いた布などで拭き取って下さい。放置するとさびや腐食の原因になります。

6 生成の手順

生成の前に

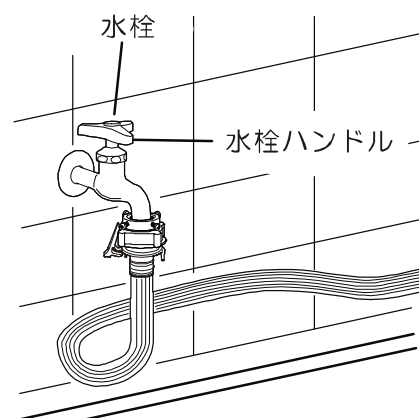
添加液の準備が完了した後、次の手順で生成を開始します。

1. 給水の準備

水栓ハンドルを開けて給水状態にします。

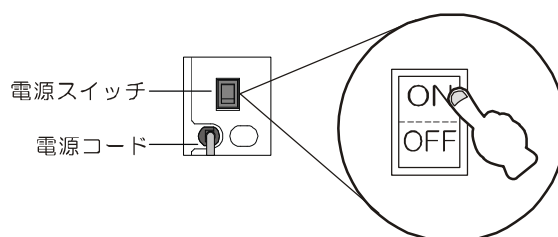
注) 切替コックを使用している場合は、本器側に給水する様にしてください。

* 給水ホースの接続部及び本体からの水漏れのないことを確認してください。



2. 電源投入

電源コードのプラグをコンセント (AC100V 50/60Hz) に確実に差し込み、本体右背面にある電源スイッチを『ON』にします。



3. 添加液の補給

初めてご使用の場合、添加液切れランプが点滅しています。

添加液切れスイッチを押すと、添加液の吸引を行い、生成可能な状態まで自動で動作します。

吸引動作に約1分間が必要です。

吸引動作中は、取水パイプより吐水します。

必ず給水状態とし、シンクなど排水可能な場所で行ってください。

ご使用中に添加液切れとなった場合も同様に操作してください。



注意



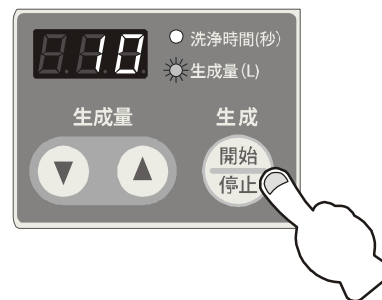
- 操作の前に、添加液タンクに専用添加液を補充し所定の場所に取り付けてください。

6 生成の手順

生成の開始・停止（チャイルドロック OFF）

1. スイッチによる生成

- ①停止中、表示部には設定されている生成量(L)が表示されています。
生成スイッチを押すと生成を開始します。
- ②生成中は、生成量ランプが点滅し生成中であることをお知らせします。
また、表示部には生成残量を表示し、生成に合わせて1 L単位で減少します。
- ③設定されている生成量になると、生成を停止し、生成量ランプは点灯に変わります。
表示部には、設定されている生成量(L)が表示されます。



2. 生成量の変更

1	生成量の変更は、停止中に行ってください。 生成量の設定範囲は、 1～200 L です。 右図は、生成量の設定が20 Lであることを表示しています。	
2	▲、▼ スイッチは、生成量の増減に使用します。 ▲、▼ スイッチを押す度にそれぞれ1 L単位で増減します。 押し続けると10 L単位で増減します。 右図は、操作パネルの▲ スイッチを操作して、生成量を50 Lに変更した場合です。	
3	生成量の変更が終了したら、生成スイッチを操作して生成を行います。	

6 生成の手順

生成の開始・停止 (チャイルドロック OFF)

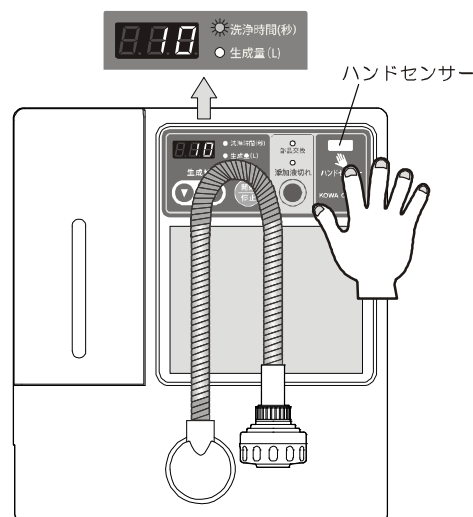
3. ハンドセンサーによる生成

- ① ハンドセンサーを用いて、非接触で生成を開始することができます。

ハンドセンサーの検出部（手のひらマーク）に約5 cm まで手を近づけます。0.5秒間は、そのままの状態、手を動かさないでください。検出すると「ピッ」とブザーを鳴らします。

注意 ハンドセンサーが間違った検出をしないために、0.5秒間は手を動かさないでください。動いていると検出されません。

- ② ハンドセンサーが検出して生成を開始すると、洗浄時間ランプが点滅し、表示部の表示内容が洗浄時間(秒)に変わります。
表示されている時間は、1秒単位で減少し、残りの洗浄時間をお知らせします。
- ③ 設定されている洗浄時間が経過すると、生成を停止します。
表示部の表示内容が設定されている生成量(L)の表示に変わります。



4. 生成の停止

- ・生成スイッチによる生成中は、生成スイッチを押すと生成を停止します。
- ・ハンドセンサーによる生成中は、再度、ハンドセンサーが検出状態になると生成を停止します。
ハンドセンサーによる生成中に、生成スイッチを押すことで、生成を停止することもできます。

生成を停止した場合は、生成量(L)及び洗浄時間(秒)の何れの値も設定値に戻ります。

操作パネルの表示数値について

生成スイッチによる生成中は生成の残量(L)を、ハンドセンサーによる生成中は生成の残り時間(秒)を表示します。



注意



- 生成中に電源スイッチを『OFF』したり電源コンセントからプラグを抜いて生成を停止させないでください。
故障の原因となります。必ず 生成スイッチにて生成を停止させてください。

6 生成の手順

チャイルドロックが設定されている時の生成

以下は、チャイルドロックが設定（ON）の状態での動作説明です。

チャイルドロックがONの状態では、ハンドセンサーを用いた洗浄動作のみとなり、**生成**スイッチでの生成や生成量の設定の操作は出来ません。

但し、添加液切れとなった場合の**添加液切れ**スイッチによる添加液の補給は可能です。

チャイルドロックの設定/解除は、P.18「設定値の変更」を参照して実施してください。

***出荷時は、チャイルドロックは解除（OFF）されています。**

5. ハンドセンサーによる生成（チャイルドロック ON）

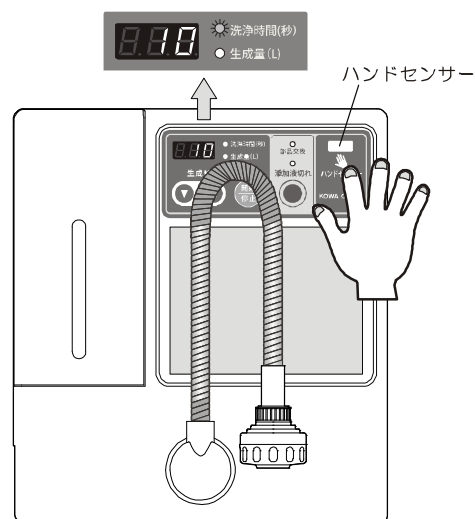
①停止中、表示部には設定されている洗浄時間(秒)が表示されています。

②ハンドセンサーの検出部（手のひらマーク）に約5 cm まで手を近づけます。0.5秒間は、そのままの状態、手を動かさないでください。検出すると「ピッ」とブザーを鳴らします。

注意 ハンドセンサーが間違った検出をしないために、0.5秒間は手を動かさないでください。動いていると検出されません。

③ハンドセンサーが検出し生成を開始すると、表示されている時間が、1秒単位で減少し、残りの洗浄時間をお知らせします。

④設定されている洗浄時間が経過すると、生成を停止します。表示部の表示内容は、設定されている洗浄時間(秒)の表示に戻ります。



注意 チャイルドロックが設定されている場合でも、ハンドセンサーによる生成中に再度、ハンドセンサーを検出状態にすることにより生成を停止することができます。

6 生成の手順

添加液の補給

1. 「添加液切れ」ランプが点滅したら

注意 添加液の補給には、必ず専用添加液をお使いください。

添加液がなくなると添加液切れランプが点滅し、生成が出来なくなります。

P.11「添加液の準備」を参照し添加液を補給してください。

補給後は、P.13「添加液の補給」を参照し、添加液の吸引を行ってください。

有効塩素濃度の確認

生成水の有効塩素濃度のチェックには、付属品のクロール試験紙をご使用ください。

水質、水温、その他の条件により多少バラツキがあります。

1. 生成スイッチで生成を行い付属のカップで採水してください。

安定した塩素濃度を測定する為に1分以上連続生成してから

採水するようにしてください。

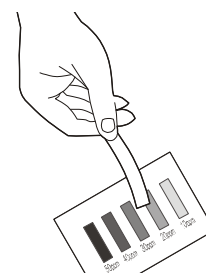


2. 比色による判断

クロール試験紙は生成水に含まれる次亜塩素酸の濃度を調べる試験紙です。

生成水に浸したクロール試験紙と付属の比色表とを比較して、有効塩素濃度を判定します。

概ね20ppmであることを確認してください。



有効塩素濃度を調整する場合は、P.18「設定値の変更」を参照しておこなってください。

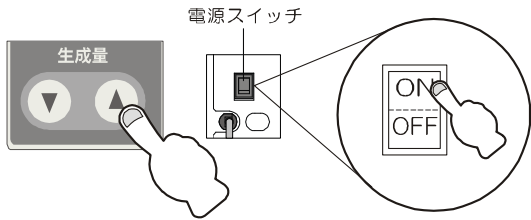
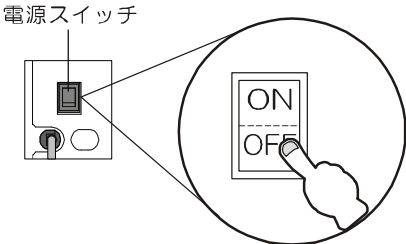
7 設定値の変更

項目の表示と選択

設定値には以下の内容が含まれます。

1. 洗浄時間（秒単位）設定
2. 有効塩素濃度設定
3. チャイルドロック設定

以下の方法で変更する項目を選択します。

1 電源スイッチをOFFにします。 操作パネルの$\blacksquare$スイッチを押したまま、 電源スイッチをONにします。 $\blacktriangle$スイッチから指を離します。 ※電源スイッチは本体背面です。 P.9「各部の名称」を参照してください。	
2 洗浄時間が表示されます。 設定時間を表示し、洗浄時間ランプが点灯します。 右図は、初期値10秒を表示しています。 操作パネルの生成スイッチを押すと、 次の項目に切り替わります。	 洗浄時間の設定値の変更は、P.19 「洗浄時間設定」を参照してください。
3 有効塩素濃度設定が表示されます。 右図は、初期値 Level 3を表示しています。 操作パネルの生成スイッチを押すと、次の項目に 切り替わります。	 有効塩素濃度の設定値の変更は、P.20 「有効塩素濃度設定」を参照してください。
4 チャイルドロック設定が表示されます。 右図は、初期設定のチャイルドロックが解除された 状態を表示しています。 操作パネルの生成スイッチを押すと、 洗浄時間に切り替わります。	 チャイルドロック設定の変更は、P.21「チャイルドロック設定」を参照してください。
5 設定値の変更が終了したら、電源スイッチをOFF にし、5秒程度、そのままの状態でお待ちください。 電源スイッチをONにします。 通常通りにお使いいただけます。	

7 設定値の変更

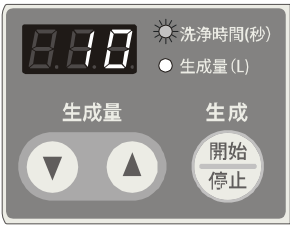
洗浄時間設定

ハンドセンサーの検出により生成する洗浄時間の設定を変更します。

出荷時は「10（秒）」に設定されています。

お使いになる場所の状態に合わせて、適正な時間に変更してください。

以下は、P.18「設定項目の表示と選択」で項目が選択された状態での操作方法です。

1	初期設定の10秒を、15秒に変更する場合を例にとってみます。 洗浄時間の設定範囲は、 10～120秒 です。 右図は、P.18「設定項目の表示と選択」で「洗浄時間設定」が選択された状態です。	
2	▲ スイッチは、時間の増加に、 ▼ スイッチは、時間の減少に使用します。 操作パネルの▲ スイッチを5回押し、設定値を15秒に変更します。	
3	設定値の変更を終了する場合は、電源スイッチをOFFにします。 その他の設定項目を変更する場合は、生成スイッチを操作して項目を選択してください。	

7 設定値の変更

有効塩素濃度設定

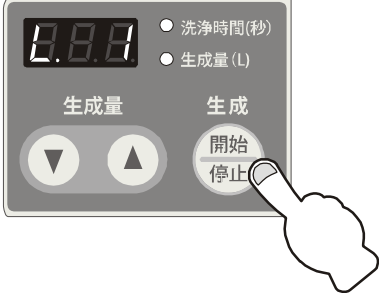
生成される除菌洗浄水の有効塩素濃度の調整をします。

初期設定は「Level 3」（表示はL. 3）に設定されています。

お使いになる場所の状態に合わせて、適正な値に調整してください。

調整後は、P.17「有効塩素濃度の確認」を参照し有効塩素濃度の確認を行ってください。

以下は、P.18「設定項目の表示と選択」で項目が選択された状態での操作方法です。

1	初期設定のLevel 3を、Level 1に変更する場合を例にとってみます。 有効塩素濃度の設定範囲は、 Level 1～5 です。 右図は、P.18「設定項目の表示と選択」で「有効塩素濃度の設定」が選択された状態です。	
2	▲ スイッチは、数値の増加に、 ▼ スイッチは、数値の減少に使用します。 操作パネルの▼ スイッチを2回押し、設定値をLevel 1に変更します。 Levelを増加させると塩素濃度が増加し、 Levelを減少させると塩素濃度が減少します。	
3	設定値の変更を終了する場合は、電源スイッチをOFFにします。 その他の設定項目を変更する場合は、<u>生成</u>スイッチを操作して項目を選択してください。	

7 設定値の変更

チャイルドロック設定

チャイルドロックの設定を変更します。

初期設定は「チャイルドロック：解除(OFF)」に設定されています。

お使いになる環境に合わせて、変更してください。

以下は、P.18「設定項目の表示と選択」で項目が選択された状態での操作方法です。

用語説明

Child Lock = C , 解除 = OFF , 設定 = ON として以下の様に表示します。

チャイルドロック解除 = CoF

チャイルドロック設定 = Con

1	初期設定の「チャイルドロック：OFF」を、「チャイルドロック：ON」に変更する場合を例にとってみます。 右図は、P.18「設定項目の表示と選択」で「チャイルドロックの設定」が選択された状態です。	
2	▲ スイッチは、ON設定に、 ▼ スイッチは、OFF設定に使用します。 操作パネルの▲ スイッチを押し、設定を「チャイルドロック：ON」に変更します。表示は、Conとなります。	
3	設定値の変更を終了する場合は、電源スイッチをOFFにします。 その他の設定項目を変更する場合は、生成スイッチを操作して項目を選択してください。	

チャイルドロックが設定(ON)されると、表示部に洗浄時間を表示して待機状態となり、ハンドセンサーによる洗浄動作のみとなり、操作部のスイッチは全て動作禁止となります。

但し、例外として以下の操作は可能です。

- 1) 添加液切れが発生した場合の添加液補給スイッチ
- 2) エラーが発生した場合の生成スイッチによるエラー解除
- 3) ハンドセンサーによる生成中、生成スイッチによる生成停止



8 故障かな？と思ったら

下記の状態が発生した場合、原因をお確かめの上、正しく対処してください。

なお、以下の措置を行っても、状態が改善されない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

症状	原因と対応	参照 ページ
本体の表示器、ランプが全く点灯しない	電源スイッチがOFFになっていませんか？ ⇒ 電源スイッチをONにしてください。	P.9 P.13
	電源プラグが抜けていませんか？ ⇒ 電源プラグを差し込んでください。	P.13
	電源スイッチはON、電源プラグは差し込まれている。 ⇒ 水栓を閉め、電源プラグを抜いて販売店までご連絡ください。	
生成が停止し、ブザーが鳴り、 添加液切れランプが点滅する	添加液がなくなりました。 ⇒ 添加液を補充し、添加液切れスイッチを押してください。	P.13
	専用の添加液を使用していますか？ ⇒ 専用の添加液を使用してください。	P.29
	添加液の補給を行っても添加液切れが解消しない。 ⇒ 水など専用の添加液以外のものを使用していませんか？ 専用の添加液を使用して下さい。	P.29
	添加液ホースは折れたり、つぶれたりしていませんか？ ⇒ 添加液扉の内側を確認してください。 真っ直ぐにしてください。	P.11 P.12
	長期間使用しなかった場合、水路内の添加液が拡散されて添加液補給になる場合があります。 ⇒ 添加液切れスイッチを押してください。	P.13
【入力水量の不足】 生成中に入力水量が2.0(L/分)未満になった場合に表示器に水量の点滅表示をし、ブザーが鳴ります。 ＊この状態が30秒以上継続すると水量不足のエラーで停止します。 エラーコード「E02」	水道圧は、十分ですか？ ⇒ 本器が正常に動作するためには、0.1Mpa以上の水圧が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。	
	水栓ハンドルは十分に開けていますか？ ⇒ 水栓ハンドルを開けてください。	P.13
	給水口のメッシュフィルターに異物が詰まっていませんか？ ⇒ メッシュフィルターを清掃してください。	P.26
	給水ホースの折れ曲がりや、つぶれがありませんか？ ⇒ 真っ直ぐにしてください。	
	水道配管上に大量の水を使用する装置などはありませんか？ 一度に大量の水を使用する機器をお使いになられた場合に、水圧・水量が不足することがあります。 ⇒ 条件によっては水道加圧装置が必要です。 お買い求めの販売店にご相談ください。	
	○切替コックをご使用の場合 切替コックは装置側に正しく切り替わっていますか？ ⇒ 本器側に切り替えてください。	

8 故障かな？と思ったら

症状	原因と対応	参照 ページ
部品交換ランプが点滅し、ブザーが鳴る。	・消耗部品の交換時期です。 ⇒ しばらくはこのままでご使用できますが、お早めに販売店までご連絡ください。 - 消耗部品：電解槽、添加液ポンプ	P.9 P.29
接続金具から水が漏れている。	・接続金具はゆるんでいませんか？ ⇒ 確実に取り付けてください。	
給水ホース接続部から水が漏れている。	・給水ホースは、確実に取り付けられていますか？ ⇒ ホースを確実に取り付けてください。	
本体底部より水漏れしている。	・故障です。 ⇒ ご使用にならないでください。 - 水栓を閉め、電源プラグを抜いて販売店までご連絡ください。	
ハンドセンサーが検出しない。	・手を止めましたか？ ⇒ ハンドセンサーが検出するために0.5秒間の停止が必要です。 - 誤動作を防止のために、移動する物体は、検出しません。	P.15
	・汚れたりしていませんか？ ⇒ ハンドセンサー前面のシートが汚れていませんか。 - 柔らかい布などで拭き取ってください。	
	・ハンドセンサーの検出部に太陽光が当たっていませんか？ ⇒ 太陽光が当たらない様にしてください。	

修理依頼する場合は

販売店に修理を依頼される場合は、以下の事項をご連絡ください。

1. 故障の状況（出来るだけ詳しく、症状・エラーコード等）
2. 製品名：
3. 製造番号：
4. お買上年月日
5. お名前、ご住所、電話番号、ご担当者様

9 エラー

異常を検出した場合、ブザー音と共に、以下のエラーコードを表示してお知らせします。

症状、原因と対応をお読みになり、正しく対処してください。

また対処しても症状が改善しない場合や、販売店への連絡が指示されている場合は、速やかに販売店までお知らせください。

エラーコード	症状	原因と対応	参照ページ
E 0 1	止水不良 ・生成停止 ・洗浄終了後 水が止まらない	⇒ 電源を再投入し、数回生成を行っても症状が改善しない場合は、水栓を閉めて水を止め、販売店までご連絡ください。	
E 0 2	水量不足 生成中の入力水量が2.0 L／分未満の状態が30秒以上継続した	・水道圧は、十分ですか？ ⇒ 本器が正常に動作するためには、0.1 Mpa以上の水圧が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。	
		・水栓ハンドルは十分に開けていますか？ ⇒ 水栓ハンドルを開けてください。	P.13
		・給水口のメッシュフィルターに異物が詰まっていますか？ ⇒ メッシュフィルターの清掃をしてください。	P.26
		・水道配管上に大量の水を使用する機器などはありませんか？ 一度に大量の水を使用する機器をお使いになられた場合に、水圧・水量が不足することがあります。 ⇒ 条件によっては水道加圧装置が必要です。 お買い求めの販売店にご相談ください。	
E 0 4	通水なし ・生成開始時に水が流れない ・生成中の入力水量が1.0 L／分未満になった	・水道圧は、十分ですか？ ⇒ 本器が正常に動作するためには、0.1 Mpa以上の水圧が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。	
		・水栓ハンドルは十分に開けていますか？ ⇒ 水栓ハンドルを開けてください。	P.13
		・給水口のメッシュフィルターに異物が詰まっていますか？ ⇒ メッシュフィルターを清掃してください。	P.26
		・給水ホースの折れ曲がりや、つぶれがありませんか？ ⇒ 真っ直ぐにしてください。	
		⇒ エラーを解除し、数回生成を行っても症状が改善しない場合は、販売店までご連絡ください。	
		○切替コックをご使用の場合 ・切替コックは装置側に正しく切り替わっていますか？ ⇒ 装置側に切り替えてください。	P.13

9 エラー

エラーコード	症状	原因と対応	参照ページ
E10	電解電源が供給されていない	・ 本器内の電源に異常が発生した ⇒ エラーを解除し、一度、電源スイッチをOFFにし、再度スイッチをONにして生成を行ってください。症状が改善しない場合は、水栓を閉め、電源プラグを抜いて販売店までご連絡ください。	
E11	生成電流が過剰になった	・ 専用の添加液を使用していますか？ ⇒ 専用の添加液を使用してください。 ・ 設定外の要因による電流の上昇 ⇒ エラーを解除し、一度、電源スイッチをOFFにし、再度スイッチをONにして生成を行ってください。症状が改善しない場合は、水栓を閉め、電源プラグを抜いて販売店までご連絡ください。	
E12	ポンプの寿命または故障	・ ポンプの寿命または故障です。 ⇒ 販売店までご連絡ください。	
E13	制御部品の寿命または故障	・ 本器内の制御部品の寿命または故障です。点検を実施しないと生成できません。 ⇒ 電源スイッチをOFFにし、水栓を閉め、電源プラグを抜いて販売店までご連絡ください。	

＊上記のエラーが発生し症状が改善しない場合は、水栓ハンドルを閉じ、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、生成は絶対に行わないでください。

必ずお買い求めの販売店にご連絡ください。

修理依頼する場合は

販売店に修理を依頼される場合は、以下の事項をご連絡ください。

1. 故障の状況（出来るだけ詳しく、症状・エラーコード等）
2. 製品名：
3. 製造番号：
4. お買上年月日
5. お名前、ご住所、電話番号、ご担当者様

10 点検とお手入れ

点検

定期的に以下の項目を点検してください。

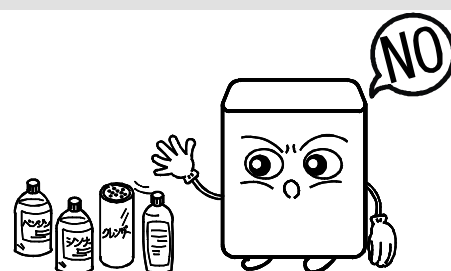
水漏れの確認	本器周りに水漏れがないか確認し、水漏れのある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
部品交換ランプの点滅確認	部品交換ランプが点滅している場合は、部品の交換時期です。お買い求めの販売店にご連絡ください。
給水口メッシュフィルターの点検	給水口にはめ込まれているメッシュフィルターが目詰まりしている場合があります。定期的に清掃・洗浄をしてください。
生成水の点検	所定の洗浄除菌水が生成されているか ・有効塩素濃度

本体のお手入れ

柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから拭いてください。

補足

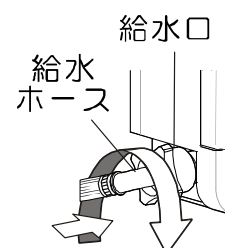
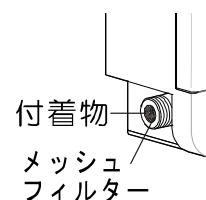
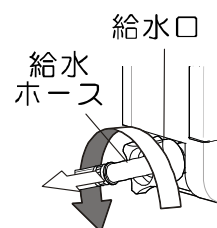
- みがき粉、シンナー、ベンジン、ガソリンや灯油などの溶剤は使用しないでください。
傷ついたり、変形、変色の原因になります。



給水口メッシュフィルターの清掃

給水口メッシュフィルターは、装置内に水道水中の異物が流入するのを防ぎ、装置が正常に働くようにするためのものです。6ヶ月に一度程度、又は水量エラーが発生するような場合は清掃をおこなってください。

1. 水栓を閉じて、給水ホースをはずします。
＊給水ホースや装置内の水が多少溢れてきます
ので清掃用の雑巾等を準備してください。
2. 給水口内部のメッシュフィルターに付着している異物を取り除いてください。
3. 給水ホースを、給水口に取り付けます。
水漏れがないようにしっかりと取り付けてください。
水栓を開けて、水漏れ等が無いことを確認してください。

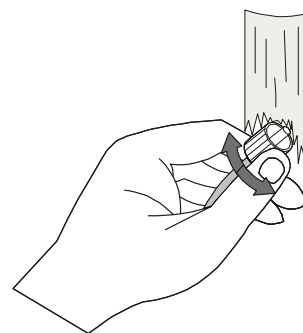
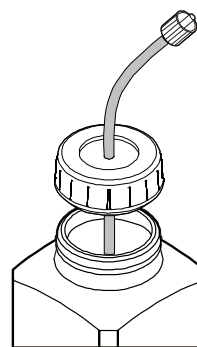


10 点検とお手入れ

添加液コネクターの清掃

添加液に含まれる塩化物が結晶化し、添加液コネクターの差込やロックが不十分となり、隙間から空気を吸い込んでしまいます。そのために添加液が入っているにもかかわらず添加液切れの症状が発生してしまいます。これを未然に防止するために、1～3ヶ月に毎に、添加液コネクターの洗浄をおこなってください。

1. シンクなど流水で洗浄が出来る場所で添加液タンクのフタを取り外します。
添加液がたれた、場合は流水で洗い流してください。
2. 添加液コネクターに水をかけ流し状態にして、指先で左右に回して、コネクター内側の塩化物の結晶がなくなるまで十分に洗浄してください。
容易に取れない場合は、水を入れた容器に添加液コネクターを浸して1, 2時間放置したのち、再度、洗浄してください。
3. 十分に乾燥させてから添加液タンクに取り付けます。



11 チェックリスト

ご使用の前に

- ☐ 取扱説明書をきちんと読みましたか。
- ☐ 生成水の性質をよく理解されましたか。
- ☐ 設置に適した場所に設置しましたか。
- ☐ 生成に適した水質ですか。
- ☐ 設置場所の換気は十分ですか。
- ☐ 生成に適した水圧・水量ですか。
- ☐ 電源は単相AC100V、コンセントを単独で使用していますか。

生成の確認

- ☐ ランプ・スイッチ機能は正常ですか。
- ☐ 目的の有効塩素濃度の水が生成されていますか。
- ☐ 水漏れはありませんか。

12 仕様

名称	コア・クリーン25	
型式	KCM-2500	
給水方式	元止め方式	
給水接続	専用金具	
給水	原水水質	水道法水質基準に適合した硬度80ppm以下の水道水又は同等水
	作動水圧範囲	0.1MPa ～ 0.75MPa（推奨0.20MPa以上） 注)0.75MPaを超える場合は必ず外部減圧弁を取り付けること
	原水温度	5～35℃
使用条件	周囲環境	室内使用（凍結、結露なきこと）
電源	定格電圧	単相 AC100V 50/60Hz
	定格入力電流	1.0A
	定格消費電力	60W
	電源コード	長さ：2.4m ，プラグ：2P
生成水量*1		最大 2.5L/分
有効塩素濃度*2		約20ppm ± 10ppm
pH範囲*2		5.0～6.5
添加液		専用添加液
添加液タンク		500mL（約400Lの生成が可能*3）
形状寸法	W×D×H	270×110×303(mm) 取水筒を含む奥行きは(140mm)
装置重量		約 3.6Kg
取水パイプ		全長500mm、切替付シャワーヘッド
運転方式		ハンドセンサー（非接触式）／生成スイッチ
洗浄時間設定（ハンドセンサー）		設定範囲：10～120秒（出荷時設定：10秒）
生成量設定（生成スイッチ）		設定範囲：1～200L（出荷時設定：10L）
装置付属品		給水ホース(1m)・接続金具・専用添加液(1L)・クロール試験紙・測定用ミニカップ 取扱説明書・取付設置説明書・保証書
別売品		壁掛けキット
消耗品	P.29参照	・コア・クリーン25専用添加液A： 5L ・コア・クリーン25専用添加液A：10L ・クロール試験紙

※ 仕様は予告なく変更する場合があります。

※ 水量表示は約±10%精度です。

※1 生成水量は入力水圧、入力水量により異なります。

※2 有効塩素濃度、pH範囲は、原水の水質・水温等により変動します。

※3 生成可能な量は、原水の水質・水温、設定条件等により異なります。

13 交換部品・消耗品

交換部品

下記の部品は、性能を維持するために定期的な交換が必要な部品です。

電解槽は、生成時間 8 0 0 時間毎に交換が必要です。

添加液ポンプは、生成時間 1 , 6 0 0 時間毎に交換が必要です。

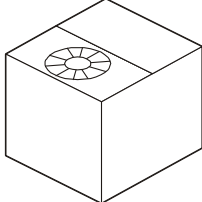
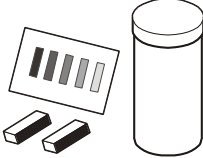
部品交換ランプが点滅してお知らせします。定期的に確認してください。

部品の交換には専門の知識が必要ですので、必ずお買い求めの販売店、又は製造元に依頼してください。

- * 電解槽の寿命は、使用している原水の水質等により、若干変化します。
定期的に生成水の点検を行ってください。

消耗品

お買い求めの販売店にご注文ください。

区 分	品番	名 称
消耗品	053-054	コア・クリーン 2 5 専用添加液 A : 1 L × 4 本 
	053-055	コア・クリーン 2 5 専用添加液 A : 1 0 L 
	053-033	クロール試験紙 1 0 ~ 5 0 ppm 

添加液は、必ず専用添加液をご使用ください。

14 保証とアフターサービス

保証

必ずお読みください

【保証書】（別添）

- （１）本装置には保証書を、別途添付しています。
 - （２）保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入内容を確認、販売店からお受け取りの上、大切に保管してください。
 - （３）保証期間は、お買上げいただいてから１年間です。（ただし、消耗品は除きます。）
- 本装置の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。

故障・修理

故障の場合はすぐに本装置の電源を切り、水道の元栓を閉めて必要に応じて販売店に修理を依頼してください。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・保証期間中
本取扱説明書に従って正しく設置・ご使用いただいている場合での故障については１年間は無償修理(消耗品は除く)いたします。・修理料金
修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。 | <ul style="list-style-type: none">・保証期間が過ぎている場合
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有償で修理させていただきます。 |
|---|---|

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

発売元 株式会社コアテック

本社
〒783-0092
高知県南国市田村字若宮乙2040-1
TEL 088(804)6080
FAX 088(804)6081
ホームページ <http://www.kowa-tec.co.jp/>
e-mail sales@kowa-tec.co.jp

製造元 株式会社コア電子

本社・工場
〒783-0092
高知県南国市田村字若宮乙2040-1
TEL 088(804)6070
FAX 088(804)6077

810-606(V1)
2014/07/10